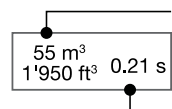
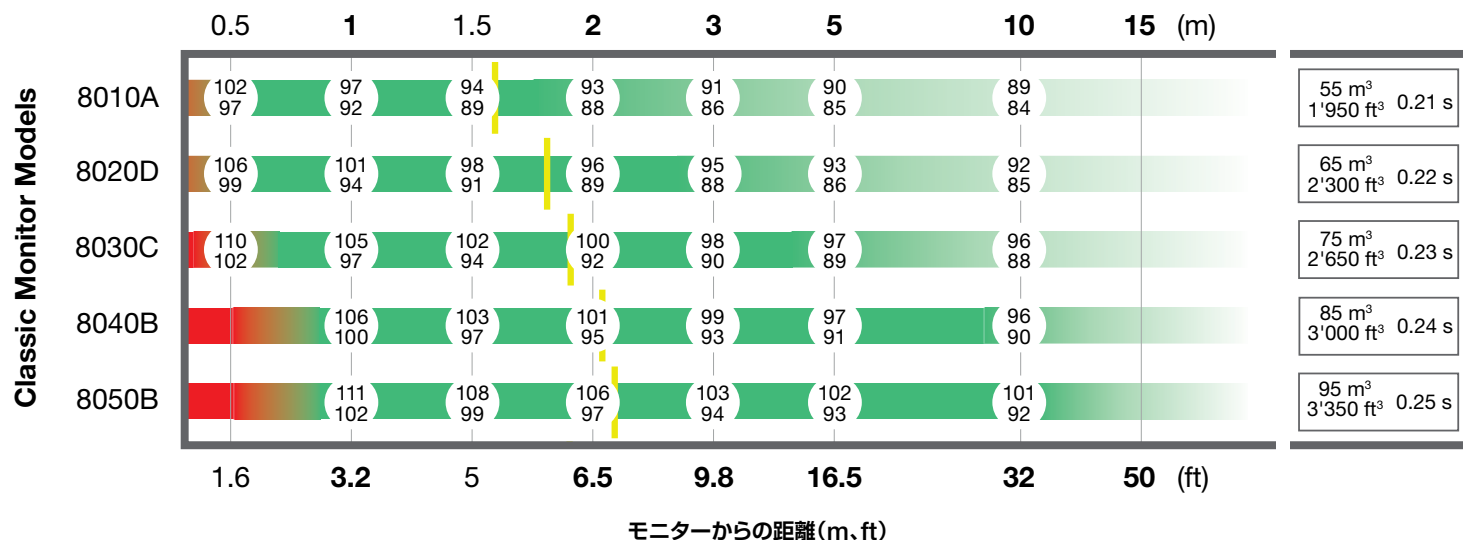


Genelec Monitors | 推奨されるリスニング距離

モニターとリスニング・ポイントとの距離は、モニターのパフォーマンスやリスニング・ポイントにおける SPL に大きく影響します。以下の図は、各 Genelec 製品におけるリスニング距離と SPL の関係を示したものです。



室内容積

室内残響時間 (RT60)

短期音圧レベル

100 Hz ~ 3 kHz を平均した短期正弦波最大音圧レベル、半空間、軸上、1 m で計測。ピーク・レベルはこれより高くなります。一般的なイマージング・スタンダードおよびオーディオ・コンテンツの場合、ヘッドルームが 4 dB 低くなる傾向にあります。詳細はジェネレックジャパンにお問い合わせください。

長期音圧レベル

長期 RMS 最大音圧レベル、IEC60268-5 準拠の擬似プログラム信号を使用、反空間、軸上、1 m で計測 (ドライバー・ユニットの保護回路による制限あり)。



リスニング距離と音圧レベル

記載の短期および長期音圧レベル (SPL) には各製品に対して一般的な室内環境要因が考慮されています (ITU-R BS.1116-1 勧告)。室内残響時間が長い場合、主に長期音圧レベルに影響し、ここに示された値よりも高くなります。



推奨されない距離

モニターまでの距離が近すぎると、複数のドライバーの音のサミングが設計どおりにならず、周波数特性のフラットさに影響を与えます。ある程度の距離を置く方がよりフラットで安定した周波数特性を得ることができます。



臨界距離

臨界距離はモニターからの直接音と室内残響音が同じレベルになる距離を指します。臨界距離は、室内容積、室内残響時間 (ITU-R BS.1116-1 勧告参照)、モニターの指向性の影響を受けます。